

札幌市交通局高速電車 西車両基地

施設管理者：札幌市交通局

施設所在地：札幌市西区二十四軒1条4丁目1－2

調査見学時期：令和5年10月30日（月）

施設概要

札幌市交通局西車両基地は、街路や河川との関係および都市空間の高度利用という観点から全面地下方式となっています。1976年に東西線の車両基地として建設されましたが、東西線の延伸に伴って東車両基地が建設され、1987年には東西線の車両は全て東車両基地へ配置されました。1988年からは東豊線の車両基地として運用されています。東豊線へは東西線を経由して大通駅付近の連絡線にて接続しています。札幌市営地下鉄は車輪がゴムタイヤで、中央に案内軌条のある珍しい走行方式です。

西車両基地は出入構線が2線あり、車庫としては13番線まであります。各番線の役割は次のとおりです。

- ① 1～3番線（工場線）：天井クレーンが設置され、全般検査が行われます。
- ② 4～6番線（台車作業場）：台車の点検作業などに使用されます。
- ③ 7～10番線（留置線）：タイヤの点検・交換作業などを行います。
- ④ 8～9番線（洗車線）：洗車を行うためのプラットフォームが設置されています。
- ⑤ 11～12番線（ピット線）：ピットが設けられ、車両床下点検を行います。
- ⑥ 13番線（気吹線・試運転線）：圧縮空気ですべての車体・台車のごみを吹き飛ばします。他の番線とは壁で隔離されています。

車両基地の直上は約200台収容の地下駐車場、地上部は集合住宅となっています。



車両基地内部



車輪と案内軌条